



・西南学院大学・

図書館報

No. 58

1973年11月1日発行

福岡市西区西新6丁目
西南学院大学図書館



あいさつとお願い

図書館長 木 村 毅

前館長清田正喜教授の任期満了のあとを受けて、去る7月からはからずも館長に就任しました。日頃利用者の一人として大学図書館の充実とサービスの向上を願ってきましたが、恐らくはすべての教員と学生に共通なこの願いに、わたくし自身がこたえていかねばならぬ破目に陥ってしまいました。大学にとって図書館がどういう意味をもっているかについて今さら喋々を要しないと思いますので、この点を抽象的に論ずることは省きますが、図書館にどれだけ力を入れてきたかによって、その大学の大学としての自覚と努力の程を知ることができるといっても、過言ではないでしょう。西南学院大学図書館も昭和24年の大学昇格以来随分充実に努力してきましたが、古いことをお話ししても皆さんには余り興味がもてないでしょうから、近年の状況を他の大学図書館と比較してお目にかけたいと思います。

現在利用しうる統計は昭和45年度についてのものです、いささか古くて恐縮ですが、全国316の私立大学のうち学生数3千人以上の大学75校（それ以下の大学には天理大・大谷大その他若干の例外もありますが、概して図書館も小規模です）を調べてみますと、西南学院大学図書館（神学部分館を含む）は、蔵書冊数約21万5千冊で第22位（最高は慶応の約105万冊）、年間受入冊数は約2万8千冊で第5位（但しこの年度は大学院申請など特殊事情もあって特別多いでしたので、平年度並みの約2万冊とすると第15位。最高は慶応の約4万9千冊。）、雑誌種類数は約1千7百で第18位（最高は慶応の約1万1千）ですが、これを学生数1人当たりに換算すると、蔵書冊数は30.2冊で第9位（最高は玉川大64.2冊）、年間受入冊

数は3.95冊で驚くなかれ第1位（但し平年度並みとすると2.80冊で第8位）、雑誌種類数は0.243で第16位（最高は玉川大の0.543）というような具合です（日本図書館協会編『日本の図書館1971』による）。何よりもまず量的なものに惹かれるのは若き日のマルクスの言ったように「小児の悟性」なのかも知れませんが、統計表で見る限り、われわれの図書館は、十分満足すべき状態でないことはもちろんですが、まずまずのところにあるといってよいでしょう。しかしそれも私大内で比較してのことで、国公立、特に旧帝大級の国立大学と比較すると、大きな隔たりがあり、特に蔵書冊数はせいぜい1学部程度といっても過言ではないでしょう。統計表にあらわれない質的な面を考慮に入れると、なおさらでしょう。こういう次第ですから、図書や雑誌の量的・質的な一層の充実が必要なのは言うまでもありませんが、それと同時に利用の面の改善をはかること、そしてそのためにもレファレンス・サービスを行なうことが、是非必要だと思われまふ。いろんな事項についての参考図書類は各階の閲覧室に相当たくさん備えており、各自自分で調べて貰うことにしていますが、文献に関する情報サービスはやはり図書館職員が行なうべきでしょう。従来もある程度は行なってきたのですが、本格的なレファレンス・サービスをするには、適当なスペースがない、ツールが足りない、人手が足りない、というようなことで、今日に至ってしまったようです。しかし、そういつていてはいつまでたっても改善されませんから、ともかくも有り合わせの場所で、有り合わせの参考図書と有り合わせの人員で、近いうちに何とか発足させたいと思っています。その他改善すべき点はできるだけ改善したいと思いますので、どしどし建設的な意見を寄せてくださるようお願いいたします。

「館内移動と将来計画」

課長補佐 杉本善夫

夏期休暇中に5階と書庫1階の内装工事了り、利用者にはご迷惑をおかけしながらも館内の移動を行いました。

今までは座席数450席で試験期にもなると満席になり、一部の学生は利用できないようなことがありましたが、今度5階の内装により4階の開架図書を5階に移しましたので、4階を開架閲覧室として開放することにより108席増えたこととなりますので、この状態はある程度緩和されたと考えています。

以下今回の移動によって今までと変わった点と、将来図書館で計画している館内の配置等について述べてみたいと思います。

5階—閉架書庫・教授閲覧室・資料係事務室等 を 設け、主に教員の研究用資料を配架しています。

4階—本学が積極的に推進している国際交流の一環として留学生が来ていますので、彼らの便宜を図るため留学生別科コーナーとして「Japan Studies Collection」のコーナーを設けて、日本関係の図書・雑誌を配架しています。そのほかアメリカンセンターからの寄贈図書約1万冊を置いています。また今年末までには3階から文学・語学と法学関係の図書を移す予定にしています。翌年度に短大児童教育科が文学部の4年制の児童教育学科として発足した時には、児童教育科関係の図書もここに移す予定です。またこの階にあった教授閲覧室のあとには院生専用閲覧室としました。

3階—商学・経済学関係の図書で占めることとなりますので、現在の文・商・経・法関係の図書が4階と3階に分れますので相当の余裕ができます。もう一つこの階には、現在の視聴覚室兼会議室も参考図書室とし、文献調査等のレファレンスに応じる設備をととのえ、利用者によりよいサービスができるようにと考えています。

2階—そのまま一般教養関係の図書ですが、前述したようにこの中から児童教育科関係の図書を4階に移すことにしています。

なお、現在2階にある開架の雑誌も近い将来各階の開架閲覧室に雑誌コーナーを設け、図書と同様に部門別にしたい考えです。

国連寄託図書館は書庫の1階に移しました。整理の面でまだ不十分なところが多いのですが、徐々に整備して利用しやすいようにと思っています。なお、ここには座席数24の閲覧室が付設されています。次に各階の機能を図示しておきます。

研究	5階	閉架図書室		書 庫
	4階	文学、法学関係 留学生別科コーナー		
	3階	商学、 経済学関係		
専門	2階	一般教養関係	事務室	国連寄託 図 書 館
	1階	学 習 室		
教養				
		閲覧部門	管理部門	書庫部門

5階と書庫1階の内装は終わりましたが、まだ書庫の内装が残っています。

第一次計画として昭和50年度、第二次計画として昭和52年度に内装の予定で、これで図書館の施設についての計画は終り、収容能力約50万冊の図書館となります。

外国図書館シリーズ フランス国立図書館

文学部教授 西 島 幸 右

パリには多くの図書館があるが、なかでも私が留学中しばしば利用したのは、国家文書館 (Archives nationales) と国立図書館 (Bibliothèque Nationale) である。だが前者は文字どおり国家文書の保存をその主要な目的としており、そこに所蔵されているものは原史料が中心であり、フランス史の研究者にとってはきわめて重要な「仕事場」ではあっても、一般の研究者にとってはあまりにも特種な図書館である。したがってここでは、より一般的な国立図書館について多少述べてみたい。

地下鉄のピラミッド駅を降りて地上へ出ると、そこは観光客でにぎわう「オペラ通り」である。ここから歩いて約5分。国立図書館の正門は「リシュリュー通り」に面している。その敷地面積は約16,500平方メートル、堂々たる建物である。正門を入ると中庭があり、その右手に図書館への入口がある。この図書館を利用するためには、まず「閲覧者カード」(Carte de lecteur) が要求されるが、それは所定の用紙に必要事項を書き込んで事務所に提出すると、簡単に入手できる。(なお、手稿などの未刊行図書を利用したい場合には、2本の赤の斜線が入っている特別の閲覧者カードを申請しなければならない。)

閲覧室の入口で、この閲覧者カードを提出すると、それと引き換えにプラスチック製の席番号をくれる。この部屋の席数は約360席。なお、この閲覧室の地階がカタログのための部屋になっており、約700万冊の図書について部門別・問題別・著者名別などの索引カード、あるいは各種の文献目録などがぎっしりと並んでいる。ここで必要な図書の著者名・題名・分類番号などを調べ、所定の図書請求カードに記入して、前記閲覧室の正

面にあるポストへ、そのカードを投入すると、約15~20分後に係員が坐席まで持って来てくれる。

利用者の顔ぶれは、まさに老若男女。また人種や国籍もさまざまである。ただ

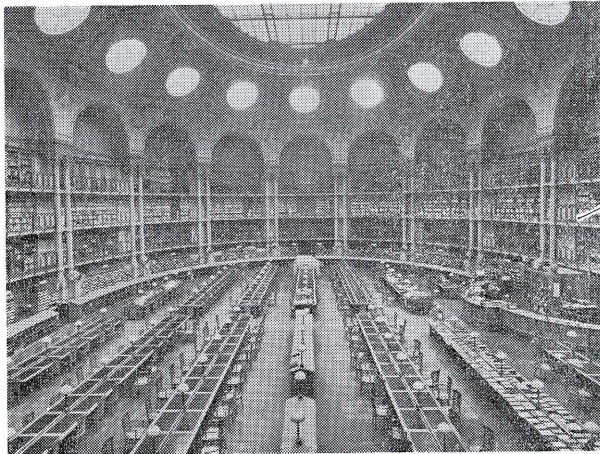
ひとつ共通していることは、その真剣なまなざし。一種の迫力を感じるほどである。したがって、どんなに満席になっても騒々しくなるようなことは絶対になく、室内はつねに静粛そのもの。ここに坐っているだけで何だか身の引き締まる思いがする。

この国立図書館には、上記の一般的な図書閲覧のほか、多くの重要な機関が併置されている。すなわち、約25万種の雑誌・新聞を有する定期刊行物部門 (Périodiques)、古くからの原史料を収める手稿部門 (Manus-

cripts)、世界中の約1200万点の版画を収める版画部門 (Estamps)、13世紀以来の地図を集めた地図部門 (Cartes et Plans)、数百万点の貨幣を含むメダル・古美術部門 (Cabinet des Médailles et Antiques)、および約90万点の楽符・レコードを有する音楽部門 (Musique) など。国立図

書館は、まさに学問研究の宝庫である。

なお、この図書館を想い出すとき、いまひとつ忘れたたいのは、これに隣接する Square Louvois という小さな公園のことである。みどりの芝生に囲まれて、その中央にはフランスの4つの河を象徴した4人の女性立像がある。彼女たちは、読書で疲れた研究者たちを、やさしく見おろしている。



昭和47年度図書館利用統計

▶どんな内容のものがどれだけ増加したか (昭和47年度増加冊数)

区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	計
和書	450	469	347	3,214	377	241	519	293	155	952	7,017
洋書	321	481	456	2,222	192	143	597	33	654	2,016	7,115
計	771	950	803	5,436	569	384	1,116	326	809	2,968	14,132
前年度 和洋計	482	1,289	964	7,691	905	659	1,414	810	854	3,011	18,079

▶この一年間、図書館はどれだけ利用されたか

○入館者数(学生)

学部	学 習 室		開 架 閱 覧 室	
	47年度	46年度	47年度	46年度
神学部	77,983	88,270	10	65
文学部			23,262	25,949
商学部			24,823	29,614
経済学部			21,047	23,291
法学部			27,320	30,086
短期大学部			3,469	3,070
大学院			512	196
その他			365	140
計	77,983	88,270	100,808	112,411

(-10,287)

(-11,603)

○館外貸出人員(学生)

学部	47年度	46年度
神学部	2	19
文学部	6,396	6,939
商学部	6,947	7,652
経済学部	5,389	5,666
法学部	7,217	7,534
短期大学部	1,884	1,516
大学院	377	147
その他	172	88
計	28,384	29,561

(-1,177)

○館外貸出冊数(学生)

分類別	47年度	46年度
0 総記	446	511
1 哲学	3,527	3,590
2 歴史	1,635	1,931
3 社会科学	18,402	18,340
4 自然科学	1,178	1,340
5 工学	242	236
6 産業	3,222	3,535
7 芸術	1,678	1,462
8 語学	1,415	1,436
9 文学	9,697	10,420
雑誌	797	765
計	42,239	43,566

(-1,327)

告知版

○大学祭期間中の開・閉館時間

11月7日(水)より11月11日(日)までの大学祭期間中の開・閉館時間を下記のとおりとしますので、ご承知ください。

11月7日(水)～11月9日(金) 9時～17時

11月10日(土) 9時～12時

なお、学習室は閉室いたします。

○卒業論文作成用特別貸出について

4年次生は卒論作成のための特別貸出をしています。通常の貸出のほかに、3冊以内、期間1ヶ月間、希望者は受付まで申し出てください。

○卒業論文の閲覧手続きについて

図書館に保管されている諸先輩の卒論を卒論の作成参考のため、ゼミ担当教授の承認をえて閲覧をすることができます。希望者は予め受付で用紙をもらってください。なお、館外貸出はできません。

奉仕係より

本号には、昨年度の図書館利用統計表が掲示されています。統計表によると、入館者数、貸出人員、貸出冊数ともすべて減少しているようです。9月に五階の内装工事も終り、四階も開架閲覧室となり、利用者には一段と利用しやすくなったと思います、より一層のご利用を。五階内装工事終了により一部開架閲覧室の移動を行います。二面に掲示されていますのでご承知ください。

(S.T.)

自 昭和48年4月 ～ 至 昭和48年9月

(敬称略)

I 和漢書の部

ボーイスカウト日本連盟より 日本ボーイスカウト運動史

文化庁より 外国人のための基本語用例辞典

鎮西学院より 鎮西学院90年史 他1冊

朝鮮国立中央図書館より キム・イルソン 4部

中央大学ドイツ文化発行所より ドイツ文化第16号

中央大学経済研究所より 経済成長と産業構造
出口王仁三郎著作集購読をすすめる会より 出口
王仁三郎著作集 第2・3巻

愛媛大学より 瀬戸内の地域開発に関する研究

福岡大学図書館より 福岡大学雑誌目録 和文篇
昭和47年4月現在福岡県労働部より 福岡県の賃金事情 1972
他1冊

福岡県選挙管理委員会より 選挙の記録

福岡市文芸運営委員会より 福岡 '72文学賞

福岡市観光課より 福岡市の観光ガイドブック
他1冊

福岡市役所より 福岡市統計書 昭和47年版

福島県企画開発部より 福島県勢要覧 昭和48年
版

服部時計店より 時計史年表

平塚市企画部より 平塚市統計書 昭和46年版

今岡十一郎氏より フィン・ウゴル研究 第4集

時事問題研究所より 安全保障をどうするか

人事院職員局より 国家公務員死因調査報告書
昭和45年度

自転車産業振興協会より 自転車の一世紀

自由民主党広報委員会より わが党の基本方針

上路忠雄氏より 詩集天国の門

神奈川県企画調査部より 県勢要覧

関西大学東西学術研究所より 漱芳閣書屋記

川上太郎教授より 日本戸籍の特質

経済企画庁より 国民生活白書 昭和48年度
他1冊

健康保険組合連合会より 社会保障年鑑 1973

建設省河川局より 海岸統計 47年度版

金融経済研究所より 金融研究会講演集 II

神戸大学経営学研究室より 平井泰太郎経営学論
集国立公文書館より 国立公文書館年報 昭和46年
度 他1冊国立国会図書館より 逐次刊行目録 昭和45年版
他4冊国立国語研究所より 電子計算機による新聞の語
彙調査 IV 他4冊

国際電信電話株式会社より 宇宙通信の黎明期

国税庁より 第21回事務年報 昭和46年度

久保康孝氏より 商法演習 III

熊本市より 熊本市の人口

熊本市役所より 熊本市統計書 昭和47年度版
他1冊京都女子大学図書館より 羅和对訳マージナ・カ
ルタ

前崎泰宏氏より 中央年鑑 1969・1970

宮崎県立図書館より 宮崎県立図書館蔵書目録
第3巻

武藤田鶴子氏より 雲

長崎大学附属図書館より 長崎大学経済学部所蔵
武藤文庫目録名古屋大学附属図書館より 名古屋大学附属図書
館一覧 昭和40～45年度

中尾英俊教授より 隠岐群島の入会林野 他1冊

ニュージャパンプレスより エクスチエンングカレ
ンダー 昭和48年度版

日興証券株式会社より 安定成長論

日本ゲーテ協会より ゲーテ年鑑 第15巻

日本グループダイナミックス学会より Group
Dynamics in Japan 2部日本放送協会総合放送研究所より NHK放送文
化研究年報 第18集日本経営者団体連盟より 賃金交渉の基礎資料
昭和48年版 他1冊日本私立大学連盟より 第2回大学就職事務研究
集会報告書 他1冊

西日本政懇話会より 世界年鑑 1973

小田松五郎氏より 法律学全集 第59巻

岡三証券より 躍進

岡山大学附属図書館より 岡山大学蔵書目録 第
9巻 昭和47年版

沖縄県庁知事公室公聴係より 新生沖縄県
鬼丸勝之氏より 日本国有鉄道百年写真史
大阪府立商工経済研究所より 府下中小企業の構
造と当面する諸問題 他1冊

大阪証券取引所より 大阪証券取引所統計年報
昭和47年

尾崎恵子教授より たのしい工作あれこれ
老人福祉研究会より 老人福祉研究 4 2部
三康文化研究所より 三康図書館蔵書目録 哲学
宗教編

三和銀行行史編纂室より 写真でみる三和銀行の
歴史

青潮社より 北嶋雪山の生涯

成蹊学園より 成蹊学園60年史

西南学院大学55周年記念アルバム委員会より
西南学院55年のあゆみ

司法研修所より 著作権侵害に関する比較法的実
証的研究

新潮社より 源氏物語手鏡

証券投資信託協会より これからの財産経済学
3部 他4冊

創価学会広報室より 牧口常三郎

総理府統計局より 科学技術研究調査報告 昭和
47年 他1冊

帝人株式会社より 帝人の歩み 1~7

天理図書館より 秘籍面録 他1冊

時政勲教授より 線型経済学

徳島県農林水産部より 徳島県の地質

東京大学附属図書館より 大学図書館と情報処理
東京都公文書館より 東京百年史 第1・5・6
巻

東洋経済新報社より 金融研究会講演習 I
八幡大学社会文化研究所より 賃借権の本質
吉岡正敏氏より フランスことわざ小辞典

II 洋書の部

Abingdon Press. より Creative Congrega-
tions. 他3冊

朝鮮国立中央図書館より Album Under The
Banner of The Great Juche Idea of
Comrade KIM IL SUNG

Kyushu University. より Education and
Culture in A Thal Rural Community.

名誉英国領事館より Britain 1970. 他1冊

斉藤剛毅氏より Life, Work, And Contribu-
tions of Edwin B. in Japan.

